

## 4 切れ目のない子育て支援

乳幼児期の家庭での保育支援のために在宅子育て応援事業補助金2292万円を引き続き計上した。また、乳幼児医療助成事業1193万円や小中学生医療助成事業1674万円、本年10月1日から定期接種に指定されたロタウイルス予防接種委託87万円などにより、子育てを医療面から支援していく。また、子育て世代包括支援センターや子育て包括相談員などにより、子育て支援にも積極的に取り組んでいく。

### 乳幼児期の 家庭での保育に

■在宅子育て応援事業補助金 2391万円

昨年に引き続き、保育施設等を利用せず、在宅で子育てを希望する保護者を支援するもの。

第1子、第2子は月額2万円、第3子以上は3万円を補助するもの。



大方と佐賀の学校給食センター（上と右）

### 子育てを 医療面から支援

■乳幼児医療助成事業

1152万円

■小中学生医療助成事業

1674万円

中学卒業までの医療費無料化の助成事業。

## 5 健康寿命延伸の取り組み

少子高齢化が進み高齢者世帯が増える中、健康寿命を伸ばしアクティブシニアを増加させることは、地域を支えコミュニティを維持していくためにも必要不可欠なこととなっている。そのためにも、引き続き小さな拠点医療等相談事業として、医師による相談事業を実施することとしている。

また、介護保険事業では通所型短期集中運動機能向上サービス事業により介護予防に取り組むとともに、国民健康保険事業では平成30年度に引き続き若者健康診査費用を計上し、早期発見早期治療により若年層からの健康対策に取り組んで行く。



ふれあいサロンでの健康相談の一幕

■小さな拠点医療等相談事業費 78万円

あつたかふれあいセンターで、医師による相談事業を実施するもの。



定期健診で活躍中の健康診断車